

「イエス様とは」

1. はじめに

- ・目的 ヨハネ 20 : 31

しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。

- ・ことば (ロゴス) ギリシヤ的表現
- ・グノーシス的なものとの戦い (神は人として生まれていない)
- ・エペソで90年代後半 (ヨハネの方が評価が高かった) 6節7節

2. 本文

- ・預言者としてのキリスト

- ・神が約束されていた預言者として
- ・神によろこばれるためにどのように歩むか 18節ひとり子の神が、神を説き明かされたのである
- ・教えられた通りに生き
- ・われわれが従うべき模範を示した

- ・大祭司としてのキリスト

- ・真の大祭司として、永遠の契約の仲保者として
- ・人々の罪のなだめの供え物となった (十字架)
- ・人々は神と和解させられ、神との平和な状態に導かれる
- ・キリストは罪を赦す力と権利をもっている
- ・律法を成就された 14節恵みとまことに満ちておられた 16節満ち満ちた豊かさの中から

- ・王としてのキリスト

- ・新しい契約の天的な王である
- ・悪魔と死と墓とに打ち勝たれた (復活)
- ・「神の国」の王として 聖霊降臨

3. まとめ

- ・真理のあらわれかた

- ・14節 ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。

- ・ことばといのち

- ・ヨハネ 20 : 31 あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。